

日本での交換留学

政治大学（台湾）

康婕茹（コウショウジョ）

台湾の政治大学から来たコウショウジョと申します。前期からお茶の水女子大学で1年間勉強しました。この1年は本当にあっという間でした。以下は今学期の経験について話したいと思います。

まず、今学期の最初は前期と同様、新型コロナウイルスの影響で日本に行けず、自国でオンライン授業に参加していました。11月の下旬、日本政府が留学生の受け入れを再開したというニュースが出ました。このニュースをみて、ようやく日本に行けると思いましたが、結局それはできず、とても残念でした。

それでも、私はこの1年に、オンライン授業を通して、様々なことを学びました。今学期から、留学生は留学生科目以外、正規科目も履修できるようになりました。私もチャレンジしてみようと思い、ジェンダーに関する正規科目を一つ履修しました。私は元々ジェンダーについて興味があるので、この科目を履修できて本当に嬉しかったです。しかし、やはり正規科目は留学生科目と比べて難易度が高いため、初めてこの授業に参加するときは自分の日本語能力が足りるかどうかについて少し心配しました。幸いにも、先生もクラスメートもとても親切で、私の日本語能力も前期より少し上達したので、自分の考えを伝えることができ、達成感を強く感じました。また、授業でほかの日本人の学生のジェンダーをめぐる考えが聞け、自分の考えと重なったところも違ったところもあり、とても興味深かったです。

また、私はほかの授業でも、しばしばジェンダーに関することをテーマとし、色々な発表をしました。発表の作成に向けて資料を探したり、自分の考えを絞り出したりすることは非常に大変なことでしたが、このおかげで私は色々なことを知ることができました。そして、発表した後、先生とクラスメートからのフィードバックを聞き、とても勉強になりました。また、授業で様々な国から来た学生と交流することにより、色々な国の文化と風習を知ることができ、自分の視野が広がったとも感じました。

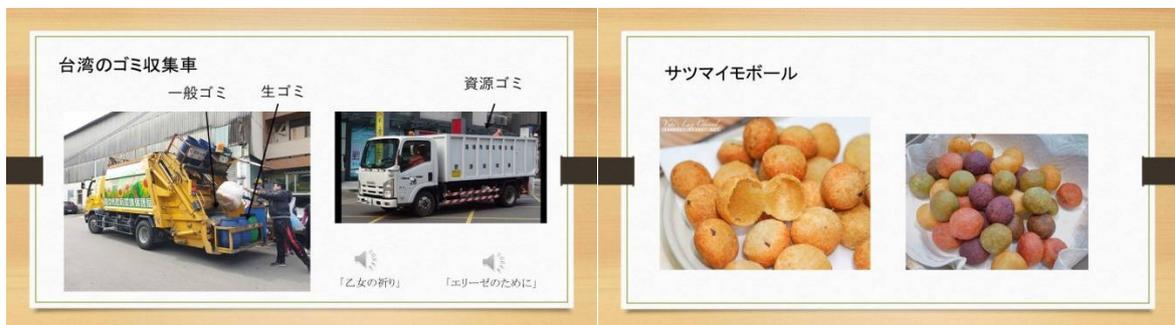
次に、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいです。まず、指導教官の申先生に感謝したいです。お忙しい中いつも毎月の振り返りシートをご確認いただき本当にありがとうございました。そして、国際課の大野さんに、いつも留学生に役立つ情報を多く送ってくださってありがとうございました。また、私が受けた授業の先生方々に、いつも親切で色々なことを教えてくださってありがとうございました。特に萩原先生と松田先生に、授業以外も色々サポートしていただき、心から感謝しています。最後に、私と一緒に授業に参加していたクラスメートに、色々な面白い文化と風習を教えてくださってありがとうございました。みなさんにとっては

よく見慣れた、聞き慣れたことかもしれませんが、私にとっては新鮮なことばかりでした。

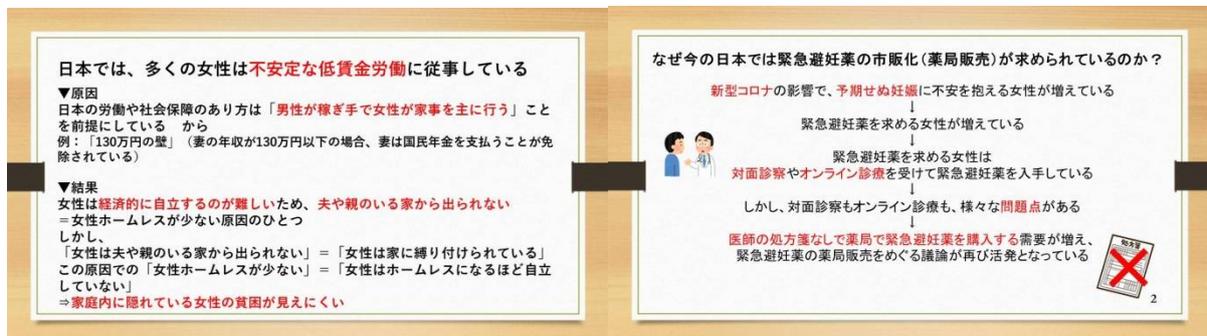
最後になりますが、先生とクラスメートの方々と直接に会って交流することができず、とても残念だと思います。また機会がありましたら、ぜひみなさんと顔を合わせて話し合いたいと思います。



← 正規科目の授業資料



↑ 自国の文化を紹介する発表のPPT



↑ ジェンダーに関する発表のPPT